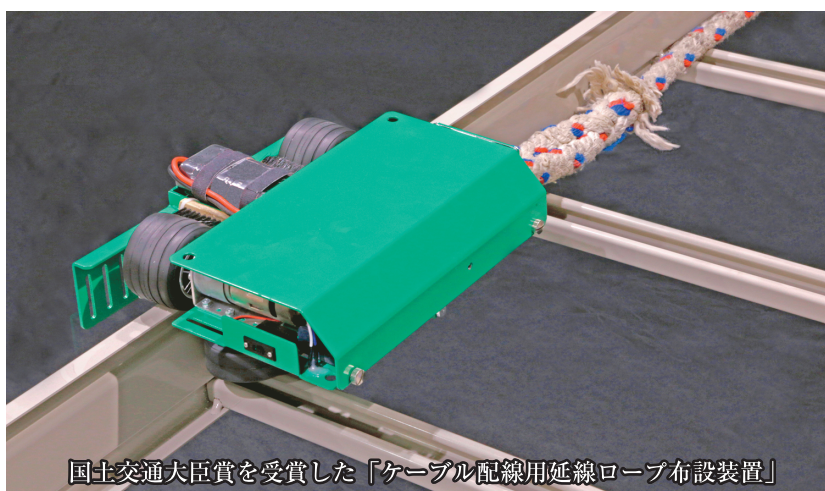




「ケーブル配線用延線ロープ布設装置」

「JECA FAIR 2017」の製品コンクールで

国土交通大臣賞を受賞



国土交通大臣賞を受賞した「ケーブル配線用延線ロープ布設装置」

株式会社きんでん（本店・大阪市北区 社長・前田幸二）は生産性向上の取り組みの一環として、ケーブルラック上へのケーブル配線作業時に使用する延線ロープを安全かつ効率的に布設できる「ケーブル配線用延線ロープ布設装置」を開発。その有用性が認められ、2017年5月に東京ビッグサイトで開催された国内最大の電気設備総合展示会「JECA FAIR 2017」（第65回電設工業展）の製品コンクールにおいて権威のある国土交通大臣賞を受賞した。

「安全と効率の両立」

近年、建設業界では担い手不足に伴う現場の生産性向上に対するニーズが高まっており、それに応えるべく開発されたのがこの「ケーブル配線用延線ロープ布設装置」だ。建設現場では現場作業員の省力化のための機械化が注目され、さまざまな取り組みが行われている。そのような中、同社ではケーブルラック上へのケーブル配線作業時に使用する延線ロープを安全かつ効率的に布設できる「ケーブル配線用延線ロープ布設装置」を開発したというわけだ。

「設備工事業界の発展に寄与」

従来の延線ロープ布設方法では、作業者が5m程度の間隔で高所作業車などを使用し、昇降を繰り返しながら布設していく。このため高所での作業回数が多く転落・墜

落の危険性を伴い、また、作業時間がかかるという問題があった。本装置を用いて延線ロープを布設することで、従来必要であった高所作業車などでの昇降・移動の繰り返しが必要となり、高所作業回数を削減するとともに作業時間を短縮することができる。

従来方法に比べて、高所作業回数が10分の1に、また作業時間が4分の1になり、延線ロープ布設作業時の安全性と作業効率が向上する。なお、装置本体は幅205mm×長さ235mm×高さ116mm、重量30kgとコンパクト。

今後同社は、作業の安全性と効率化を実現する製品や工法の開発を通じて、高品質で低コストの設備を提供し、設備工事業界の発展に寄与したい意向だ。